

編集後記

梅雨も明け本格的な猛暑の到来となりました。

梅雨明けを楽しみにしていた川の太公望は、香魚(鮎)と戯れる休日が待ち遠しい日々を過ごしておられると推察します。真夏の炎天下、清流のせせらぎの中に浸かって長竿を手に、じっと野鮎の当たりを待つ姿は考えるだけでも涼しく、のどかなものではありませんか。ただ最近は何人もでいっぱいになっていますが。

昨年の夏は例年のない猛暑の連続でしたが今年はどうなるのでしょうか。本号が発行される頃には夏真っ盛りですが。

さて、本号は恒例記事として協会の通常総会開催報告及び会長賞の決定報告、また平成12年度建設業

界で採用した新機種紹介などを掲載しています。

巻頭言は、国土交通省の橋元和男様をお願いいたしました。

随想は大林組の阪本保孝様、タダノエンジニアリングの滝上幸宏様のお二方から頂きました。

一般報文は施工に関するもの3編、開発に関するもの2編を掲載しました。

「中部国際空港島の建設におけるIT統合情報化施工」では、最近話題の絶えないITを駆使した施工システムについての記事となっており、建設機械とITはこれからの機械化施工にますます関係深いものとなってくると思います。

その他施工に関するものは、「北海道電力・苫東厚真発電所4号機増設工事における貯炭サイロの施工」

におけるスリップフォームに関する記事及び「鈴蘭台汚水幹線工事」におけるTBMによる掘削工事を紹介しました。

また開発に関するものとしてはシールド工法に関するものとして「シールド発達立坑用地を縮小化する省面積システムの開発」「電食技術によるシールド直接発達到達工法の開発」を紹介しました。シールド発達立坑の省面積化は最近新聞紙上でも注目されているところです。

ご多忙中にもかかわらず御執筆いただいた方々には厚く御礼申し上げます。

猛暑の中、会員の皆様及び読者の皆様のご健勝と、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(小林・鎌田)

No.618

「建設の機械化」

2001年8月号

〔定価〕1部 840円(本体800円)
年間9,000円(前金)

平成13年8月20日印刷 平成13年8月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷人 山田純一

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501;FAX(03)3432-0289;http://www.jcmanet.or.jp/

建設機械化研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 (吉原郵便局区内)

電話(0545)35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8 さっけんビル内

電話(011)231-4428

東北支 部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1 二日町東急ビル

電話(022)222-3915

北陸支 部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5 白山ビル内

電話(025)232-0160

中部支 部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル内

電話(052)241-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27 大手前建設会館内

電話(06)6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 築地ビル内

電話(082)221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル内

電話(087)821-8074

九州支 部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56 八重洲天神ビル内

電話(092)741-9380

印刷所 株式会社技報堂 東京都港区赤坂 1-3-6